

風"s・風のたよりオンライン版

2007/11/10 No.118

風のたより118号

★ちょっと久しぶり登場のその訳は.

2005年の9月9日に「あいち平和映画祭＝開催後、他のあいち平和映画祭と区別するため2006あいち平和映画祭とした」の実行委員会を立ち上げ、翌年4月22日に開催。

その思いにいたったのは「いつまでも平和が続くと思った。そうでないことに気づいた」ことから始まる。

★2006年は10年の区切り

フェア・トレードの店風"s（ふ～ず）を立ち上げ2006年で10年、それまでのG A I Aの会の活動でつながってきた人々、店頭でのお客さまとのつながりの総決算の、私にとってひと区切りの企画となり、多くの人々の賛同と当日の参加を頂き、松井やよりさんの意志を受け継いだ「女たちの戦争と平和資料館」他への寄付ができるほどの収益ともなりました。

あの時の皆さんの「YES PEACE」の思いが蘇って来ます。わくわくするような心のつながりを感じ、その思いを原動力に、仕事は二の次で映画祭のために半年間エネルギーを燃やしました。その節は、実行委員になってくださった方を初め、たくさんの方々に応援頂きましてありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

★たった一日のカフェ「イエス・ピース・カフェ」

その日一日を皆さんにくつろいで頂きたい！

という一心でほっとできる空間を提供できたことが、市民の映画祭そのものだったと思います。

そのプロジェクトY P P（イエス・ピース・プロジェクト）メンバーの力あればこそその緑や花いっぱいの空間が生まれ、そこでは映画「日本国憲法」の監督ジャン・ユンカーマンさんと多くの若者の対話する場もありました。



(写真は2006年4月22日 ジャン・ユンカーマン監督とY P Pの皆さん)

と同時に実行委員会代表の私にとっては、映画上映に関しては他団体との協働企画ゆえに、役員会運営において悩んだ企画でもあった。今までのG A I Aの会企画とは全く違ったその運営ゆえに、大成功の筈の打上は惨めな会でした。

盆と正月は一度に来なかった。

感性の違いはつらいものがあり、2006年開催以後のあいち平和映画祭とは私は全くかわりなく、今は心も平穏に戻った。すべて意味あることと、いつか思える日も来るのでしょうか、今は距離を置くことで穏やかな日々になりました。

．．．．． というようなわけでここしばらくHPを更新する機会がなかったのですが、疲れた心も収まり、新たに出発しています。

★「コーヒーの森」へ行ってきました！

昨年のペルーに引き続いて、10月4～14日に中米メキシコの旅にでかけました。マヤやアステカの文化にとっても魅力を感じます。今回、豊かな森とともに生きる先住民族ナワット族の「トセパン組合」の活動に大いに心動かされ是非、皆様に現場の報告をしたいと思ってやっとこのページを書くことができました。

動かないHPに「どうしたんだろう？」と心配してくださった方もみえたと思いますが、ここに再登場できたこと、とても嬉しいです！ 改めてよろしくお願ひします。 ★次号は「コーヒーの森へようこそ！ ころろで感じたメキシコの森」

～豊かな森とともに生きる先住民族ナワットの人たちを訪ねて～
報告会12月1日のお知らせです。